

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道161号 <small>あらち</small> 愛発除雪拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局			
起終点 自：福井県敦賀市疋田 至：福井県敦賀市駄口	延長 4.5km				
事業概要 一般国道161号は、福井県敦賀市を起点とし、滋賀県湖西地域を経て、滋賀県大津市に至る北陸地方と近畿圏を結ぶ主要な幹線道路である。 このうち敦賀市内の疋田トンネルは幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難であり、また現道には堆雪帯がないため、冬期積雪時には円滑な通行に支障をきたしている。 愛発除雪拡幅は、敦賀市疋田から駄口を結ぶ現道拡幅区間であり、こうした国道161号の課題を解消し、交通安全の確保及び冬期の円滑な交通の確保を目的に計画された道路である。					
H15年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H15年度用地着手	H16年度工事着手		
全体事業費	81億円	事業進捗率	約85%	供用済延長	0.5km
地域の防災面の課題 ・当該区間は降雪量が多い地域であるが、堆雪帯がないため、冬期は積み上げられた雪により幅員が狭くなり通行に支障が発生。 ・敦賀は、北陸地方と関西・中京地方とを繋ぐ交通の要衝であるが、数年に一度、大雪となり、国道8号、161号、北陸道などの幹線道路の通行止めにより日常生活や物流交通に支障が発生。 ・国道161号は北陸地方と関西地方を結ぶ幹線道路であり、大型車の割合が高くなっているが、JR北陸本線の下を通過する疋田トンネルの幅員は4.8mしかなく、大型車のすれ違いが不可能。 ・当該区間では、防災要対策箇所が4箇所存在。					
課題を踏まえた対策・事業内容 ・積雪等による通行止めを回避するため現道に堆雪幅設置等の対策を行い、大型車すれ違い不能のトンネル区間については、新たなトンネルを整備する計画。					
事業の効果等 ①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 124億円 (残事業 124億円) ②災害等による被害の回避 ・降雪時の交通安全向上 ③事前通行規制区間の解消 ・敦賀市疋田～敦賀市山中間の事前通行規制を解消する。			費用 (残事業) / (事業全体) 40 / 97億円 { 事業費： 23 / 80億円 維持管理費： 17 / 17億円 }		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・平成25年7月 北陸地方開発促進協議会(福井県知事、石川県知事、富山県知事)より整備促進の要望を受けている。 福井県知事の意見： 国道161号愛発除雪拡幅の対応方針(原案)「事業継続」について異存ありません。 愛発除雪拡幅については、これまで大雪等により通行止めが多く発生しているため、安定的な交通が確保されるよう、早期完成をお願いしたい。					
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、「国道161号愛発除雪拡幅」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					

一般国道161号愛発除雪拡幅事業区間は、秋田市や山形市に匹敵する降雪量であり、平成23年1月の豪雪では、国道8号、161号、北陸道で通行止めが発生。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在、調査設計を実施中。用地進捗率：約26%、事業進捗率：約85%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

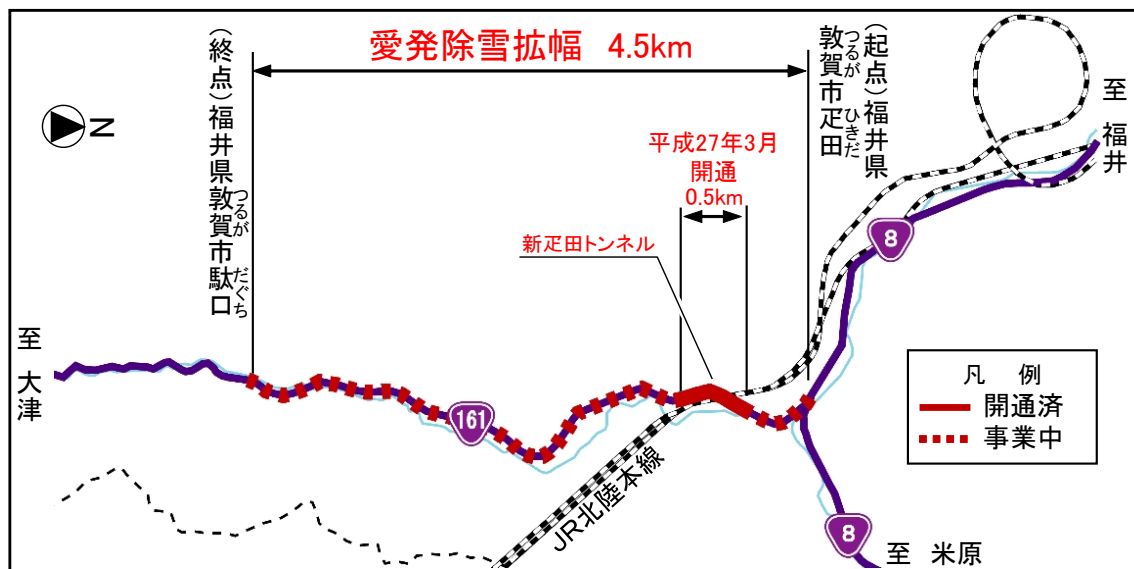
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。